

ホームシリーズ
HOME series



HOMEクリヤー UVバリア

窯業系
サイディングボード用
シリコン樹脂クリヤー



UVカット
効果



サイディングボードの塗替えの際に、
せっかくの意匠性をそのまま活かしたい。
こうした要望に応えるのが「HOMEクリヤーUVバリア」です。
サイディングボードの劣化が進む前に塗替えを行うことで、
建物を長期間美しく保つことが可能です。



特 長

① 高耐候・高耐久

長く美しくサイディングボードの意匠を保つため、HOME クリヤー UV バリアは高耐候のアクリルシリコン樹脂を採用。サイディングボードを長期間にわたって保護します。

② 低汚染性

塗膜表面を親水化し、汚れがついても雨水で流れ落とす「セルフクリーニング機能」を付与。汚れがついても落ちやすい塗膜です。

③ 防藻・防かび性

せっかくの意匠・外観をかびや藻で損なわないよう、かび・藻の発生を抑制し快適な住まいを保ちます。

用途・適用下地

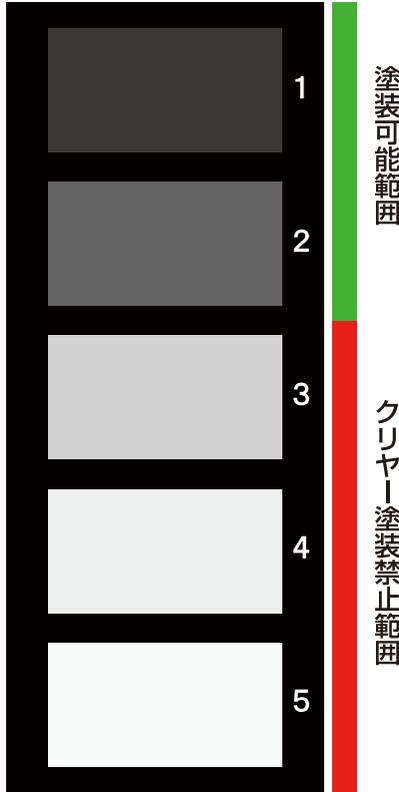
高意匠性窯業系サイディングボード塗替え用クリヤー

※光触媒サイディングボードへの塗装は不具合の原因となりますので避けてください。

荷姿・色

商品名	荷姿	混合比	艶	備考
HOMEクリヤーUVバリア	15kgセット	95 : 5	艶有・3分艶	※可使用時間 8時間 (20℃)

施工前診断



図：白亜化判定標準参考

事前チェック項目 (施工前に実施ください)

白亜化(チョーキング)等級判定

- 幅15mm以上で無色透明なセロハンテープを用意する。
- 被塗面(外壁)にテープを貼り、強くおしつけ、指でこする。
- テープを被塗面と垂直に剥がし、テープの付着物をはっきりと見えるように黒色の紙の上で白亜化の等級を判定する。
- JISハンドブック内のJIS K 5600-8-6に記載されている白亜化判定標準写真と比べて判定する。
- 判定の結果1～2までは塗装可能です。それ以外は白化や剥離等の不具合につながるため塗装を行わないでください。

HOMEクリヤーUVバリアはクリヤー仕上げのため、下地(サイディングボード)の状態がそのまま表われます。下地の劣化が進んだ状況では塗替えを行わないでください。その際にはフロンティアHOMEシステム等のエナメル仕上げでの塗替えをご推奨いたします。

標準塗装仕様

サイディングボード面

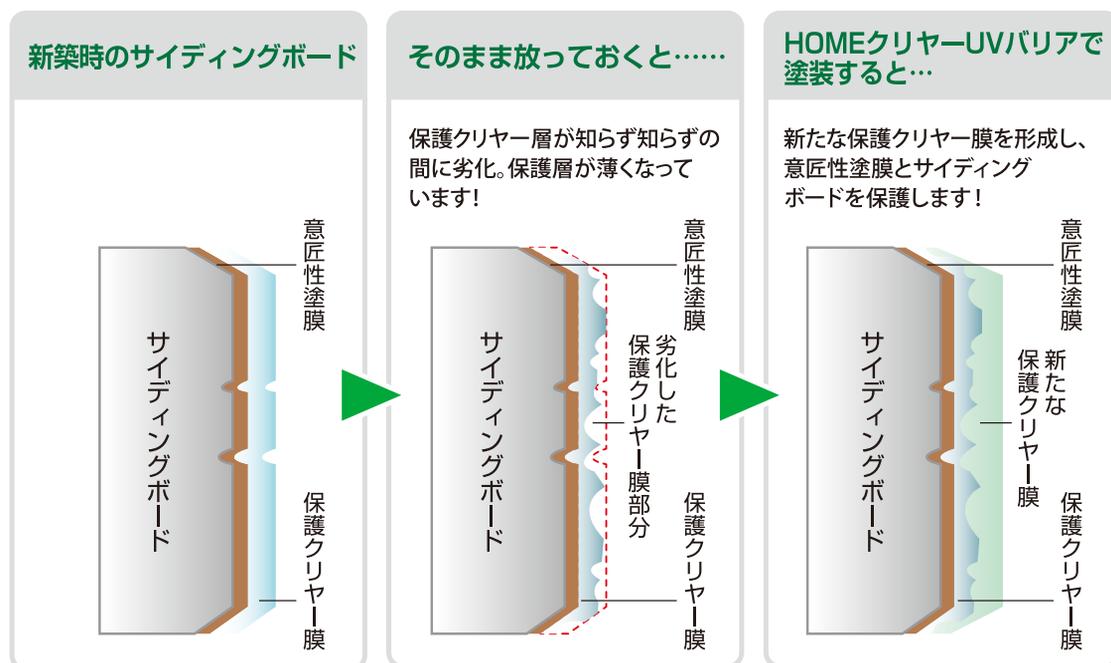
工程	塗料名 (希釈剤)	希釈率 (%)	標準使用量 (kg/m ² /回)	塗回数	塗装間隔 (20℃)	塗装方法
素地調整	<ul style="list-style-type: none"> ■ サイディングボードのひび割れなど改修工事が必要な場合は事前に適切な処理を行う。 ■ 塗装前によくしぼったウエス等で2回水拭きを行う。 その際、サイディングボードのパネルごとに拭き取り、方向は縦・横方向どちらかに揃える。 親板6～8枚洗浄を目安にバケツの水を交換する。 目地や柄の底部分の拭き残しがないように注意する。 ■ ゴミ、ホコリ、泥、油などの付着物を除去する。 ※ 高圧水洗する場合、水洗後ウエス等で空拭きをし下地塗膜が十分に乾燥しているか確認する。 乾燥が不十分だとムラの原因となります。 ※ 乾燥期間の目安は夏場1日以上、冬場3日以上。 					
	上塗り-1	HOMEクリヤーUVバリア (塗料用シンナーA)	5～10 10～15	0.10～0.12	1	6時間～7日
上塗り-2	<ul style="list-style-type: none"> ■ ゴミ、ホコリ、泥、油などの付着物を除去する。 ※ 高圧水洗する場合、水洗後ウエス等で空拭きをし下地塗膜が十分に乾燥しているか確認する。 乾燥が不十分だとムラの原因となります。 ※ 乾燥期間の目安は夏場1日以上、冬場3日以上。 					
	上塗り-2	HOMEクリヤーUVバリア (塗料用シンナーA)	5～10 10～15	0.10～0.12	1	—

※ 艶有・3分艶ともに必ず同じ艶の塗料で2回塗りしてください。

塗装上の注意事項

- 塗装時に、塗料がたれない様に均一に塗装してください。サイディングボードの模様の凹凸が大きい場合は特に注意してください。
- サイディングボードに塗装されている塗料が光触媒塗料の場合には塗装を避けてください。
- 光触媒サイディングボードは塗装を避けてください。
- サイディングボードが通気工法であることを確認してください。直張り工法の場合は塗装を避けてください。
- 既存サイディングボードの劣化が著しい場合(ボードの反り、塗膜の膨れ、剥がれなど)は、湿気などの影響を受け塗装しても早期に不具合が発生する恐れがありますので、塗装を避けてください。
- 既存塗膜が塗料用シンナーAで溶解したり、熱可塑性を有する場合は塗装することにより剥がれや膨れなどの不具合が発生しますので塗装を避けてください。
- 高圧水洗を行う場合にはノズルの向きを横張りの場合は上から下向きに、縦張りの場合は合いじゃくりの重ねの上の方向より斜めにして洗浄してください。また洗浄後の乾燥時間は20℃で最低2日間確保し、北面などの湿り具合を必ず確認してください。
- シーリング材は後打ちで施工してください。シーリング材の上の塗装は付着不良の原因になるため避けてください。
- ゴムやプラスチックなど可塑剤を含むものと塗膜が接触すると不具合が発生しますので直接および接触する面への塗装を避けてください。
- 弱溶剤形塗料ですので、換気口・空気取り入れ口などから揮発した溶剤が室内に入り込まないように適切な処置をしてください。
- 素地調整後、劣化塗膜はケレン除去を行い、補修塗装を行ってください。(ケレンの際には下地に傷をつけないようにしてください。)
- 補修塗装はシントーハヤブサシリコンをご使用ください。釘頭が出ている場合はさび止めの上に直接クリヤー塗装を行わないでください。(補修塗装は仕上がり感が異なることがありますので、事前に仕上がりを確認の上、行ってください。)
- 薬剤を用いて下地を洗浄した際には、高圧水洗等で入念に水洗してください。薬剤が残るとちぢみや剥がれ等の不具合の原因となります。
- 素地の乾燥状態は事前に確認してください。素地に水分が残っていると正常に塗膜が形成されない恐れがあります。
- 寒冷地の場合、高圧洗浄後の乾燥期間は2ページに記載の目安を参考にして十分に確保してください。乾燥が十分でない場合、クリヤー膜の白化や艶が低下する等の不具合の原因となります。
- 単色サイディングで、特に濃彩色のボードにおいては、むらになる恐れがありますので、塗装を避けてください。
- 塗装後の仕上がりはぬれ肌に仕上がります。そのため既存色相よりも濃くなります。
- 目地部等の凹凸が大きく、ローラーなどが入りきらない部分には、目地はけなどで事前に塗装を行ってください。
- 混合した塗料は使用可能時間は8時間(20℃)ですので使い切ってください。使用可能時間を越えた塗料はゲル化していない場合でも使用しないでください。本来の塗膜性能が発揮されないほか、剥がれ等の不具合の原因となります。
- 艶有・3分艶ともに必ず同じ艶の塗料で2回塗りしてください。艶の異なる塗料で塗り重ねた場合、本来の艶に仕上がらない可能性があります。

窯業サイディングボードの劣化とは…?



クリアー塗料で塗装すると

HOMEクリアーUVバリアは2種類の艶をお選び頂けます。

艶ありは新築のような輝きを再び求められる方にお勧めです。塗り替えた事が一目でわかります。

3分艶はしっとりとした艶に仕上がります。落ち着いた雰囲気のお好みの方にお勧めです。

艶有



3分艶



無塗装



使用上の注意事項

① 塗料の混合について

1. 2液混合形塗料(主剤:硬化剤)ですので、所定の主剤および硬化剤を使用し混合比を守って均一混合の上、塗装してください。
2. 硬化剤は湿気の影響を受けやすいため、保管時の水分等の混入には十分注意するとともに開缶後は全量使い切るようにしてください。

② 施工上の注意点

1. 降雨、除雪時または直後などの高湿時、気温の変化による結露発生が予想される場合は施工を避けてください。
2. 温度5℃以下、湿度85%以上は施工を避けてください。
3. 被塗面温度が50℃以上の場合は塗装を避けてください。
4. 希釈には弊社「塗料用シンナーA」をご使用ください。他のシンナーをご使用になるとチヂミ等の不具合が発生することがあります。また、ラッカー系旧塗膜の塗替え時にはチヂミ等の不具合が発生することがありますので、事前にご確認願います。希釈割合は、塗装方法、施工条件によって異なります。事前のためし塗りをして、塗装条件を確認してください。
5. 塗装用具の洗浄にはラッカーシンナーをご使用ください。
6. 開缶後、直ちに密栓する様にしてください。空気中の水分などの影響により不具合が発生する場合があります。
7. 乾燥過程において降雨等により白化することがあります。その場合、白化部分を軽く研磨する等の処置を行ってください。
8. 使用量は素地状況や被塗物の形状等により変わる場合があります。
9. 上塗を2回塗装する場合は、塗重ねインターバルは16時間以上7日以内(20℃)です。インターバルを越えた場合は、よく目荒しを行って塗装してください。
10. エマルジョンパテの使用は避けてください。不具合発生の原因となります。
11. ゴムパッキンなどの上に塗重ねることは不具合発生の元ですので避けてください。

③ 安全衛生

1. 有機溶剤中毒予防規則では第3種有機溶剤等に属します。換気と火気には、十分注意してください。
2. 作業者は保護具を着用し、塗料が直接皮膚に触れない様注意してください。

※安全に関する詳細な内容については、
安全データシート(SDS)を参照してください。
※ご不明な点につきましては、弊社問い合わせ先
までご連絡願います。



くらしゆたかに あざやかに 未来を創造するコーティング

神東塗料

本 社 〒661-8511兵庫県尼崎市南塚口町六丁目10番73号
☎(06)6426-3355(代) FAX(06)6429-6188(代)

製品に関するお問い合わせ

北海道	☎(0123)32-0431 FAX(0123)34-6199	北 陸	☎(076)262-1305 FAX(076)262-1315	四 国	☎(087)841-1251 FAX(087)843-3108
東 北	☎(022)285-7915 FAX(022)285-7813	名 古 屋	☎(052)612-0293 FAX(052)612-0318	九 州	☎(092)472-2222 FAX(092)473-5777
東 京	☎(03)5690-0544 FAX(03)5690-0553	大 阪	☎(06)6426-3763 FAX(06)6429-6268		
静 岡	☎(054)245-0135 FAX(054)247-4091	中 国	☎(082)264-6822 FAX(082)264-6821		https://www.shintopaint.co.jp/

本カタログの内容・仕様等について予告なく変更することがあります。ご了承ください。